

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東
 コード番号 7148 URL <https://www.fpg.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 谷村 尚永
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 桜井 寛 TEL 03-5288-5691
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	81,316	69.3	23,092	50.0	23,472	52.2	16,620	56.7
2023年9月期第3四半期	48,036	1.2	15,393	56.5	15,418	45.4	10,606	46.7

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 16,729百万円 (56.5%) 2023年9月期第3四半期 10,690百万円 (46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	194.71	—
2023年9月期第3四半期	124.20	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	211,037	50,727	24.0
2023年9月期	183,675	44,298	24.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 50,587百万円 2023年9月期 44,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	73.00	73.00
2024年9月期	—	38.75	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	67.10	105.85

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,500	39.8	25,600	40.2	26,000	44.5	18,000	44.4	211.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社AND OWNERS (2024年7月16日付けで株式会社AND ARTより商号変更)、除外 1社 (社名) 株式会社FLIP第281号

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	85,403,600株	2023年9月期	89,073,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	362,101株	2023年9月期	3,672,101株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	85,359,455株	2023年9月期3Q	85,402,730株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料8ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	6
(3) 株式会社F L I P第281号の連結子会社化の連結財務諸表への影響	7
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報等の注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(継続企業の前提に関する注記)	15
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	2023年9月期 第3四半期	2024年9月期 第3四半期	増減率
売上高	48,036	81,316	69.3%
売上原価	26,744	50,853	90.1%
売上総利益	21,291	30,462	43.1%
販売費及び一般管理費	5,898	7,370	25.0%
営業利益	15,393	23,092	50.0%
営業外収益	2,135	2,279	6.7%
営業外費用	2,110	1,899	△10.0%
経常利益	15,418	23,472	52.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,606	16,620	56.7%

当第3四半期連結累計期間においては、世界経済は、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞に伴う影響等がありましたが、景気は持ち直しが続きました。一方、日本経済においては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。このような状況のもと、当社グループは、事業運営方針に従い、各種施策の実施に努めました。

当社のリースファンド事業においては、積極的な販売を継続した結果、第3四半期連結累計期間としては過去最高の出資金販売額となりました。国内不動産ファンド事業においても、投資家の旺盛な需要が継続し、不動産商品販売額は通期の過去最高額を第3四半期連結累計期間終了時点で大幅に更新しました。

これらの結果、連結売上高は81,316百万円（前年同期比69.3%増）、営業利益は23,092百万円（前年同期比50.0%増）、経常利益は23,472百万円（前年同期比52.2%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は16,620百万円（前年同期比56.7%増）となり、2年連続で、通期の過去最高益（2023年9月期の営業利益18,265百万円、経常利益17,989百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12,466百万円）を、第3四半期連結累計期間で更新しました。

売上高/売上原価/売上総利益

売上高は、81,316百万円（前年同期比69.3%増）及び売上原価は、50,853百万円（前年同期比90.1%増）並びに売上総利益は、30,462百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

セグメント別業績の概況は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	2023年9月期 第3四半期	2024年9月期 第3四半期	増減率
売上高	48,036	81,316	69.3%
リースファンド事業	17,608	23,653	34.3%
国内不動産ファンド事業	27,700	55,241	99.4%
海外不動産ファンド事業	1,887	1,931	2.3%
その他事業	839	489	△41.8%
売上原価	26,744	50,853	90.1%
売上総利益	21,291	30,462	43.1%
リースファンド事業	15,392	21,061	36.8%
国内不動産ファンド事業	3,768	7,583	101.2%
海外不動産ファンド事業	1,625	1,598	△1.7%
その他事業	506	218	△56.7%

(単位：百万円)

	2023年9月期 第3四半期	2024年9月期 第3四半期	増減率
リースファンド事業			
リース事業組成金額	287,067	337,192	17.5%
出資金販売額	100,328	153,267	52.8%
国内不動産ファンド事業			
不動産ファンド事業組成金額	47,060	102,580	118.0%
不動産商品販売額	27,340	54,190	98.2%
海外不動産ファンド事業			
不動産ファンド事業組成金額	18,049	29,876	65.5%
出資金販売額（海外不動産）	11,040	10,270	△7.0%

用語の説明

[リース事業組成金額]

組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額であります。

[出資金販売額] [出資金販売額（海外不動産）]

出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分及び任意組合出資持分並びに海外不動産を対象とした集団投資事業案件に係る任意組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募の取扱いを行ったもの及びリース開始日時点で当社又は当社子会社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したのについて、投資家へ譲渡したものの合計額であります。なお、[出資金販売額]には、信託機能を活用した航空機リース事業案件に係る信託受益権譲渡価額及び航空機の売却価額を含めております。

[不動産ファンド事業組成金額]

国内不動産ファンド事業：不動産小口化商品は信託受益権1個当たりの価額に組成個数を乗じた額及び現物不動産は販売予定価額であります。

海外不動産ファンド事業：海外不動産についてのリース物件の取得価額であります。

[不動産商品販売額]

不動産小口化商品は、信託受益権1個当たりの価額に販売個数を乗じた額となります。なお、現物不動産を一棟売却した場合は、その販売価額となります。

(リースファンド事業)

リースファンド事業における組成金額は、CO2削減に関連したトランジション・ファイナンスに係る大型船舶案件を主体に積極的な組成を継続した結果、337,192百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

出資金販売額は、投資家の旺盛な需要に応え、積極的な販売を継続した結果、第3四半期連結累計期間としては過去最高となる153,267百万円（前年同期比52.8%増）となりました。

これらの結果、売上高は、23,653百万円（前年同期比34.3%増）及び売上総利益は21,061百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

(国内不動産ファンド事業)

国内不動産ファンド事業における組成金額は、2024年3月に組成した「GINZA SIX」1フロアに続き、2024年6月には「六本木ヒルズ森タワー」2フロアと大規模案件を2四半期連結会計期間連続で組成した結果、102,580百万円（前年同期比118.0%増）となりました。

不動産商品販売額は、投資家の旺盛な需要が継続した結果、通期ベースでの過去最高額を第3四半期連結累計期間終了時点で大幅に更新する54,190百万円（前年同期比98.2%増）となりました。

これらの結果、売上高は55,241百万円（前年同期比99.4%増）及び売上総利益は、7,583百万円（前年同期比101.2%増）となりました。

(海外不動産ファンド事業)

海外不動産ファンド事業における組成金額は、2023年10月に組成した第3号案件となる米国テキサス州オースティン市の大型集合住宅に続き、2024年5月に第4号案件となる米国ハワイ州のホテルを中核とした大型複合ビル「Hyatt Centric Waikiki Beach」を組成した結果、29,876百万円（前年同期比65.5%増）となりました。

出資金販売額は、2023年10月に販売を開始した米国テキサス州オースティン市の第3号案件が2024年4月に完売した結果、10,270百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

これらの結果、売上高は1,931百万円（前年同期比2.3%増）及び売上総利益は、1,598百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

(その他事業)

その他事業の売上高は489百万円（前年同期比41.8%減）及び売上総利益は、218百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

(注) 1. 第1四半期連結累計（会計）期間より、事業名称を一部、以下のとおり変更しております。

旧事業名称	新事業名称	変更理由
不動産ファンド事業 国内不動産 海外不動産	国内不動産ファンド事業 海外不動産ファンド事業	当社は、持続的な成長と企業価値の向上を図るべく、第1の柱であるリースファンド事業に次ぐ第2の柱としての不動産ファンド事業において、国内不動産のさらなる成長を企図すると同時に、海外不動産を第3の柱とすべく、取り組みを拡大してまいりました。今後は、リースファンド、国内不動産、海外不動産、それぞれの分野でリーディングカンパニーとしての地位を維持・獲得していくにあたり、国内不動産と海外不動産を独立させる形で事業名称を変更することといたしました。

2. 保険事業、M&A事業、プライベートエクイティ事業、航空事業及び共同保有プラットフォーム事業等を総称して、「その他事業」としております。

販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	2023年9月期 第3四半期	2024年9月期 第3四半期	増減率
販売費及び一般管理費	5,898	7,370	25.0%
人件費	3,200	3,778	18.0%
その他	2,697	3,591	33.1%

(注) 人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

販売費及び一般管理費は、7,370百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

これは人件費が3,778百万円（前年同期比18.0%増）、新規連結子会社に係るのれんを発生時に全額償却したこともあり、その他の費用が3,591百万円（前年同期比33.1%増）となったことによるものであります。

営業利益

上記の結果、営業利益は、23,092百万円（前年同期比50.0%増）となりました。

営業外収益/営業外費用

(単位：百万円)

	2023年9月期 第3四半期	2024年9月期 第3四半期	増減率
営業外収益	2,135	2,279	6.7%
受取利息	488	655	34.1%
金銭の信託運用益	146	332	126.4%
不動産賃貸料	1,354	908	△32.9%
持分法による投資利益	142	300	110.5%
航空機賃貸収入	—	73	—
その他	2	9	239.3%
営業外費用	2,110	1,899	△10.0%
支払利息	674	457	△32.2%
支払手数料	396	607	53.2%
為替差損	823	658	△20.1%
その他	215	176	△18.1%

営業外収益は2,279百万円（前年同期比6.7%増）となりました。これは主に、不動産賃貸料が908百万円（前年同期比32.9%減）、受取利息が655百万円（前年同期比34.1%増）、持分法による投資利益が300百万円（前年同期比110.5%増）となったことによるものであります。

営業外費用は1,899百万円（前年同期比10.0%減）となりました。これは主に、支払利息が457百万円（前年同期比32.2%減）、支払手数料が607百万円（前年同期比53.2%増）、為替差損が658百万円（前年同期比20.1%減）となったことによるものであります。

経常利益/特別損益/親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は23,472百万円（前年同期比52.2%増）となりました。

特別利益は586百万円（前年同期は株式会社FPGテクノロジーの全株式を売却したことに伴う関係会社株式売却益の計上により284百万円）となりました。これは主に、株式会社FLIP第281号において、第1四半期連結累計（会計）期間に賃貸資産（航空機）を売却し、リース事業を終了したことに伴い、固定資産売却益及び事業終了益を計上したことによるものであります。

特別損失は31百万円（前年同期はFPG Amentum Limitedに係るのれん等の減損損失350百万円の計上等により404百万円）となりました。

上記の結果、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は16,620百万円（前年同期比56.7%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2023年 9月末	2024年 6月末	増減額
資産合計	183,675	211,037	27,362
流動資産	168,290	203,364	35,074
（現金及び預金）	15,984	18,984	3,000
（組成資産）	139,416	163,691	24,274
（その他）	12,889	20,688	7,798
固定資産	15,384	7,673	△7,711
負債合計	139,377	160,310	20,933
流動負債	120,997	100,255	△20,741
（借入金・社債）	94,907	75,817	△19,090
（契約負債）	13,713	14,765	1,051
（その他）	12,375	9,673	△2,702
固定負債	18,379	60,054	41,674
（借入金・社債）	18,038	59,500	41,461
（その他）	341	554	212
純資産合計	44,298	50,727	6,429
自己資本比率	24.1%	24.0%	

資産合計は211,037百万円（前年度末比27,362百万円の増加）となりました。これは主に、積極的な商品組成によって、組成資産残高が増加したことによるものです。

負債合計は160,310百万円（前年度末比20,933百万円の増加）となりました。これは主に、組成資産取得のための資金調達の増加に伴い借入金・社債が増加したことによるものです。

純資産合計は50,727百万円（前年度末比6,429百万円の増加）となりました。これは主に、前年度の期末配当6,234百万円、当期の中間配当3,309百万円の実施及び自己株式756百万円を取得した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益16,620百万円を計上したことによるものです。

組成資産及び借入金・社債の状況は以下のとおりです。

組成資産の状況

(単位：百万円)

	2023年 9月末	2024年 6月末	増減額
組成資産合計	139,416	163,691	24,274
リースファンド事業	99,516	72,694	△26,821
商品出資金	81,130	67,701	△13,429
金銭の信託（組成用航空機）（注）	18,386	4,993	△13,392
国内不動産ファンド事業	37,630	78,096	40,466
組成用不動産	37,630	78,096	40,466
海外不動産ファンド事業	2,270	12,900	10,630
商品出資金	2,270	12,900	10,630

(注) 当社が組成する信託機能を活用した航空機リース事業案件は、当該リース事業を遂行する特定金外信託契約に係る受益権を投資家に譲渡するものであり、当社は、この法的実態を鑑み、未販売の当該受益権相当額を「金銭の信託（組成用航空機）」に計上しております。当該信託契約は、当社が信託の受託者である株式会社FPG信託に金銭を信託し、同社が当初委託者である当社の指図に基づき、当該金銭をもって航空機を購入したうえで、航空会社にリース・市場売却等を行うものであります。信託受益権を、投資家に譲渡することで、委託者の地位が承継されると共に、信託財産から生じる譲渡後の損益が投資家に帰属いたします。

(リースファンド事業)

未販売の匿名組合出資持分・任意組合出資持分を計上する商品出資金は、積極的な販売を進めた結果、前年度末に比べ減少しました。また前年度に評価損を計上した金銭の信託（組成用航空機）も、販売が好調に推移した結果、前年度末に比べ減少しました。

(国内不動産ファンド事業)

来期以降の成長を見据えた在庫を確保すべく、2024年3月に組成した「GINZA SIX」1フロアに続き、2024年6月には「六本木ヒルズ森タワー」2フロアと大規模案件を2四半期連結会計期間連続で組成する等、積極的な組成を継続した結果、組成用不動産は、前年度末に比べ増加しました。

(海外不動産ファンド事業)

海外不動産を対象とした集団投資事業案件に係る任意組合出資持分を計上する商品出資金は、2023年10月に組成し、販売を開始した第3号案件となる米国テキサス州オースティン市の大型集合住宅が完売した一方で、2024年5月に第4号案件となる米国ハワイ州のホテルを中核とした大型複合ビル「Hyatt Centric Waikiki Beach」を組成した結果、前年度末に比べ増加しました。

借入金・社債の状況

(単位：百万円)

	2023年 9月末	2024年 6月末	増減額
借入金・社債合計	112,946	135,317	22,370
流動負債	94,907	75,817	△19,090
短期借入金	75,372	66,465	△8,907
コマーシャル・ペーパー	9,000	4,000	△5,000
1年以内返済予定の長期借入金	10,163	5,252	△4,911
1年以内返済予定の長期ノンリコースローン	371	—	△371
1年以内償還予定の社債	—	100	100
固定負債	18,038	59,500	41,461
長期借入金	11,531	58,500	46,969
社債	1,100	1,000	△100
長期ノンリコースローン	5,407	—	△5,407
コミットメントライン契約 及び当座貸越契約の総額	134,635	139,990	5,355

組成資産取得のための資金調達増加に伴い借入金・社債の残高が増加いたしました。

(3) 株式会社F L I P第281号の連結子会社化の連結財務諸表への影響

前年度に当社の連結子会社とした株式会社F L I P第281号は、2023年10月にその保有する賃貸資産（航空機）を売却し、ノンリコースローンを返済したうえ、オペレーティング・リース事業を終了させたことから、連結上の重要性が低下し、第1四半期連結会計期間において非連結子会社としております。第3四半期連結累計期間の営業外損益及び特別損益に、当該リース事業の損益として正味利益618百万円を計上しております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月29日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

(単位：百万円)

	2024年9月期 (実績)	2024年9月期 (2024年7月29日付予想)	
	第3四半期 連結累計期間	連結会計年度	
	2023年10月1日～ 2024年6月30日	2023年10月1日～ 2024年9月30日	前年度比
売上高	81,316	99,500	39.8%
リースファンド事業	23,653	26,600	19.9%
国内不動産ファンド事業	55,241	69,500	54.2%
海外不動産ファンド事業	1,931	2,900	2.7%
その他事業	489	500	△53.0%
営業利益	23,092	25,600	40.2%
経常利益	23,472	26,000	44.5%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	16,620	18,000	44.4%

リースファンド事業			
リース事業組成金額	337,192	450,000	25.3%
出資金販売額	153,267	170,000	24.7%
国内不動産ファンド事業			
不動産商品販売額	54,190	68,000	52.6%
海外不動産ファンド事業			
出資金販売額（海外不動産）	10,270	14,000	△17.8%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,984	18,984
売掛金	546	294
有価証券	—	336
営業投資有価証券	647	713
商品	—	121
貯蔵品	17	131
商品出資金	83,400	80,601
金銭の信託（組成用航空機）	18,386	4,993
組成用不動産	37,630	78,096
その他	11,678	19,091
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	168,290	203,364
固定資産		
有形固定資産	9,502	1,549
無形固定資産		
のれん	367	343
その他	35	55
無形固定資産合計	403	398
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,008	3,127
その他	2,470	2,597
投資その他の資産合計	5,478	5,725
固定資産合計	15,384	7,673
資産合計	183,675	211,037
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,074	1,452
短期借入金	75,372	66,465
コマーシャル・ペーパー	9,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	10,163	5,252
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	371	—
1年内償還予定の社債	—	100
未払法人税等	5,485	4,259
契約負債	13,713	14,765
賞与引当金	601	560
その他	5,214	3,401
流動負債合計	120,997	100,255
固定負債		
社債	1,100	1,000
長期借入金	11,531	58,500
長期ノンリコースローン	5,407	—
資産除去債務	122	123
退職給付に係る負債	4	4
その他	213	426
固定負債合計	18,379	60,054
負債合計	139,377	160,310

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,095	3,095
資本剰余金	2,671	2,671
利益剰余金	40,723	45,314
自己株式	△2,457	△727
株主資本合計	44,033	50,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	158	233
その他の包括利益累計額合計	158	233
非支配株主持分	106	140
純資産合計	44,298	50,727
負債純資産合計	183,675	211,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	48,036	81,316
売上原価	26,744	50,853
売上総利益	21,291	30,462
販売費及び一般管理費	5,898	7,370
営業利益	15,393	23,092
営業外収益		
受取利息	488	655
金銭の信託運用益	146	332
不動産賃貸料	1,354	908
持分法による投資利益	142	300
航空機賃貸収入	—	73
その他	2	9
営業外収益合計	2,135	2,279
営業外費用		
支払利息	674	457
支払手数料	396	607
為替差損	823	658
不動産賃貸費用	189	146
その他	25	30
営業外費用合計	2,110	1,899
経常利益	15,418	23,472
特別利益		
関係会社株式売却益	284	—
固定資産売却益	—	460
事業終了益	—	125
特別利益合計	284	586
特別損失		
減損損失	350	—
固定資産除却損	14	4
関係会社株式評価損	39	26
特別損失合計	404	31
税金等調整前四半期純利益	15,298	24,027
法人税、住民税及び事業税	5,322	7,503
法人税等調整額	△654	△119
法人税等合計	4,668	7,384
四半期純利益	10,630	16,643
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,606	16,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	10,630	16,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	73	83
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	2
その他の包括利益合計	59	86
四半期包括利益	10,690	16,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,655	16,695
非支配株主に係る四半期包括利益	34	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結損益 計算書計上額
	リース ファンド事業	国内不動産 ファンド事業	海外不動産 ファンド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,608	27,700	1,887	47,196	839	48,036
セグメント間売上高	—	—	—	—	—	—
計	17,608	27,700	1,887	47,196	839	48,036
セグメント利益 (売上総利益)	15,392	3,768	1,625	20,785	506	21,291

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「保険事業」、「M&A事業」、「プライベートエクイティ事業」及び「航空事業」セグメント等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第1四半期連結会計期間において、FPG Amentum Limitedに係るのれん等について、当初想定していた収益が見込めなくなったために減損損失347百万円を、「リースファンド事業」に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「リースファンド事業」において、減損損失を計上したことよりのれんの変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は210百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結損益 計算書計上額
	リース ファンド事業	国内不動産 ファンド事業	海外不動産 ファンド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,653	55,241	1,931	80,827	489	81,316
セグメント間売上高	—	—	—	—	—	—
計	23,653	55,241	1,931	80,827	489	81,316
セグメント利益 (売上総利益)	21,061	7,583	1,598	30,243	218	30,462

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「保険事業」、「M&A事業」、「プライベートエクイティ事業」、「航空事業」及び「共同保有プラットフォーム事業」セグメント等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、事業セグメントを「ファンド・金融サービス事業」及び「航空サービス事業」に区分した上で、全セグメントに占める「ファンド・金融サービス事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため、前第3四半期連結累計期間においては、セグメント情報の記載を省略しておりました。

第1四半期連結会計期間より、現状及び今後の事業展開を鑑みて経営管理区分を見直した結果、事業(サービス)単位を基礎として事業セグメントを区分し、報告セグメントを「リースファンド事業」、「国内不動産ファンド事業」及び「海外不動産ファンド事業」としてセグメント情報を記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に株式会社AND OWNERS (2024年7月16日付けで株式会社AND ARTより商号変更)を連結子会社としておりますが、同社に係るのれん301百万円については、「その他」において、発生時に全額償却しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年12月22日 定時株主総会	普通株式	4,270	50.00	2022年9月30日	2022年12月23日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

子会社株式の追加取得

当社は、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるFPG Amentum Limitedの株式を追加取得いたしました。この結果、資本剰余金が134百万円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年12月22日 定時株主総会	普通株式	6,234	73.00	2023年9月30日	2023年12月25日	利益剰余金
2024年4月26日 取締役会	普通株式	3,309	38.75	2024年3月31日	2024年6月4日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

(1) 自己株式の消却

当社は、2024年4月26日の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、次のとおり実施いたしました。なお、この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,485百万円減少いたしました。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却した株式の総数 | 3,670,000株 |
| ③ 消却した株式の総額 | 2,485百万円 |
| ④ 消却後の発行済株式総数 | 85,403,600株 |
| ⑤ 消却実施日 | 2024年5月10日 |

(2) 自己株式の取得

当社は、2024年4月26日の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し実施した結果、普通株式360,000株、756百万円を取得いたしました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	102百万円	89百万円
のれんの償却額	58	326